

授業科目	耳鼻咽喉科学				
担当者	藤木暢也・岡野高之・山本秀文・阪本浩一				(オムニバス)
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

## ■ 内 容

耳鼻咽喉科領域の各器官の解剖・機能を知ると共に、その病態と治療について講義を行う

## ■ 到達目標

耳鼻咽喉科領域の各器官について、解剖・機能を説明できる。代表的な疾患について、その病態と治療の概略を知る。

## ■ 授業計画

- 第1回 総論／鼻・咽喉頭・頸部の機能解剖 (1) (藤木)
- 第2回 鼻・咽喉頭・頸部の機能解剖 (2) (藤木)
- 第3回 鼻・咽喉頭・頸部の機能解剖 (3) (藤木)
- 第4回 鼻・咽喉頭・頸部の機能解剖 (4) (藤木)
- 第5回 側頭骨の解剖と生理 (外耳・中耳) (岡野)
- 第6回 聴覚伝導路 (内耳・中枢) (岡野)
- 第7回 外耳・中耳の疾患とその治療 (1) (岡野)
- 第8回 外耳・中耳の疾患とその治療 (2) (岡野)
- 第9回 内耳の解剖・機能 (山本)
- 第10回 平衡機能検査 (山本)
- 第11回 めまい疾患 各論1 (山本)
- 第12回 めまい疾患 各論2 (山本)
- 第13回 遺伝性難聴その分類と診断 (阪本)
- 第14回 乳幼児の難聴：滲出中耳炎からウイルス性難聴まで (阪本)
- 第15回 新生児スクリーニング後の耳鼻咽喉科医の関わり：精密検査からその後の経過観察まで (阪本)

## ■ 評価方法

筆記試験100%

## ■ 授業時間外の学習 (予習・復習等) について

毎回の授業後には、各自にて復習し、理解を深めておくこと。解剖は図示して復習するのが望ましい。

## ■ 教科書

書 名：Success 耳鼻咽喉科第2版  
 著者名：洲崎春海 鈴木衛 吉原俊雄  
 出版社：金原出版

## ■ 参考図書

## ■ 留意事項

新型コロナウイルス感染症対策や不測の事態 (災害等) が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する可能性がある。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況や入構禁止等の措置を講じた場合は、評価方法を変更することがあり、評価方法を変更する場合には、講義支援システム (Moodle) を通じて周知する。

■ 講義受講にあたって